

SGH・さくら塾第11回「関高の先輩と語る会」

「関高の先輩と語る会」

日時:平成26年12月20日(土)

講師:畑中勇治さん、奥田早也佳さん、各務綾香さん、石原拓哉さん 場所: 関高校

医師国家試験、岐阜県教員採用試験に合格した先輩のお話をうかがいました！



石原さん(岐大4年)を囲んで



奥田さん、各務さん(美濃加茂市山手小教諭)を囲んで



畑中勇治さん(岐阜県総合医療センター研修医)を囲んで



- 本日の講師は、畑中勇治さん(医師)、奥田早也佳さん(小学校教諭)、各務綾香さん(小学校教諭)、石原拓哉さん(岐阜大学4年生)の4名。関高校の先輩方です。
- 畑中さんは岐阜大学医学部を卒業し、本年度から岐阜県総合医療センターで研修医として勤務。奥田さんは愛知淑徳大、各務さんは岐阜聖徳学園大を卒業し、本年度より、美濃加茂市立山手小学校で教諭として勤務。石原さんは現在岐阜大学在学中で、今年度、岐阜県高校教員採用試験に合格。
- 4名の先輩はいずれの方も、高校時代はバレーやバスケット、新体操等、部活動に懸命に取り組んだとのことでした。勉強と部活動の両立、大学での生活、国家試験や採用試験の対策など、質疑応答も盛り上がりました。

生徒の感想

＜教員と岐阜大学生(教育学部)の先輩のお話＞

- この会では教員採用試験に合格した先輩や教師として教壇に立っている先輩の生の声が聞くことができ、とてもいい経験をすることができました。普段、「教育学部ではどんなことを学ぶか」という話や「教員採用試験とはどういったモノなのか」という話を聞くことが少ないため、**こういった機会があるとすごく役に立つと思いました。**

講師のOBやOGの先輩方もとても話しやすく個人的な質問にもたくさん答えていただいたため、今まで知らなかった「教師になるための知識」をたくさん得ることができました。それだけでなく先輩方の高校時代の勉強のやり方なども聞いて1年生や2年生にとってもいい機会になったのではないかと思います。この会を通してただ知識を得るだけでなく、**自分の将来の姿を鮮明に想像できるように勉強に対するモチベーションも上がりました。**出席してよかったなと思います。来年もこのような会が開かれるのであれば教師を目指している、教育に興味のあるという後輩は出席することをお勧めします。

- 今日は、教育学部の先輩方のお話を聞いて凄くモチベーションが上がりました。普段はなかなか聞くことができない教員採用試験の具体的な内容や、大学生活、高校生の頃の勉強の仕方など役に立つお話をたくさん聞くことができました。私も先輩方のように、**いつか先生になって関高校で自分の体験を伝えることができるように頑張ろうと思います。**

- 一番に思うのは参加できて良かったなことです。先輩方の話を聞くと、知らなかった採用試験の詳しいことや実際の小学校での仕事内容や生徒一人一人を見て学級としての方針や一人一人の伸ばし方を考えるなど、細かいことまで教えてもらえました。そして今まで耳にしたことがなかったことまで知ることができました。グループに分かれたときに質問をしたり、さらに細かい話を聞かせてもらえたりしました。**グループに分かれると質問がしやすく、砕けた雰囲気になるのでとても良かったです。**貴重な体験をしたと思うし、楽しく、大切な話が聞けたことが僕にはとても強く印象に残りました。ありがとうございました。

- 今日は貴重なお話が聞けて良かったです。特に自分は岐阜大学を志望しているので、勉強のやり方や大学で何をすれば良いのかなど聞いて勉強になりました。さらには、先生になってからの大変さや**細かい仕事の説明までしていただいて自分が先生になった時のイメージがしやすくなりました。**これから計画的に勉強を進めて早く先輩方といっしょに働ける先生になれるよう頑張ります。本当にありがとうございました。

- 今回のさくら塾に参加してみて、大学やその先の教職に就くことに興味が増し、前よりもイメージが膨らみました。石原さんのお話では、教員採用試験やセンターの話、大学生活の話などが詳し

くて分かりやすかったし、楽しかったです。また、私が今一番聞きたかったモチベーションを上げる方法も聞けて良かったです。実践してみます！

山手小学校の先生方のお話では、まさに現場の声が聞けたのがとても嬉しかったです。お二人のお話を聞いていて、楽しくお仕事をなさっているのが伝わり、私もそうなりたいと思いました。あと、大学受験に失敗してもやりたいことがあればどこへ行っても頑張れるし楽しい！と教えていただき、少し心が軽くなりました。**自分の目標として大学合格だけじゃなくその先も考えたいです。**

<医師の先輩のお話>

○ 畑中さんの話を聞いて、モチベーションを上げることができました。センター対策では、問題集を2、3周やったということだったので、私も反復を大切にして残りの期間を過ごしたいと思いました。ありがとうございました。

○ 今回学んだのは以下のことです。

- ・岐阜大学の地域枠推薦では、11年間は岐阜で働くことになるが、奨学金等としてかなりの補助がもらえる。
- ・外科医になろうと思ったら手先の器用さも必要で、毎日玉結びの練習をする必要がある。
- ・外科医は大変重労働な仕事である。
- ・大学での教科書代は100万円程度を要する
- ・国家試験に合格するのはめっちゃ大変である。(相当な勉強をしなければならないから)
- ・岐阜大学の医学部は2年から3年に上がる時が一番大変である。
- ・センター9割越えはやっぱ大事である。(目標得点)

今日来てくださった畑中さんは、僕と同じ外科医志望の方で、今やっていることなどが学べました。なにより今回のさくら塾でモチベーションがかなり上がったのでそこが一番の収穫です。

○ 貴重な話をいただきました。実際に、医学部医学科に進学して、医師になれた人の話を聞くことができたのは、今までで一番、医師がどのようなことをして、何をすればいいかを知ることができました。今から受験の準備をしていったほうがいいとも強く感じました。ぼくは、**これからの高校生活を、もっと自分のためになるようなものを送っていくために、自分の夢を意識して生活していきたいです。**

○ 私は、年齢の近い岐阜大学の医学部を卒業された方に詳しく医学部や医者という仕事についての話を聞く機会が今まではありませんでした。だから、**さくら塾に参加して生の声を初めて聞き、岐阜大学の医学部が曖昧なものから、少し現実味を帯びました。**私は将来、患者によりそい信頼される医師になりたいです。畑中さんのお話を聞いて、より一層その思いが強くなりました。医師への道は、簡単ではないけれど、この思いを胸に一生懸命、勉強に励みたいです。